

1 産地基幹施設等支援タイプ

（茨城県：令和7年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
					計画時(R3年)	1年後(R4年)	2年後(R5年)	3年後(R6年)	目標値(R6年)	達成率					計画時(R3年)	1年後(R4年)	2年後(R5年)	3年後(R6年)	目標値(R6年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
龍ヶ崎市	有限会社横田農場	土地利用型作物(稲(新規需要米を除く。))	産地収益力の強化に向けた総合的推進	事業実施地区における高温耐性品種の作付割合の向上	27.8% (41.9ha/150.9ha)	26.9% (41.9ha/156.0ha)	24.7% (38.4ha/155.7ha)	31.0% (49.1ha/158.3ha)	32.8% (55.5ha/169.2ha)	64.0%	高温耐性品種(一番星、にじのきらめき)の作付拡大	土地利用型作物(稲(新規需要米を除く。))	産地収益力の強化に向けた総合的推進	事業実施地区における直播栽培、密播育苗の導入面積割合の向上	7.6% (11.5ha/150.9ha)	5.6% (8.8ha/156.0ha)	16.6% (25.9ha/155.7ha)	12.9% (20.5ha/158.3ha)	17.7% (30ha/169.2ha)	52.4%	あきだわら、あさひの夢の直播・密播育苗栽培の導入面積の拡大	耕種作物産地基幹施設整備(乾燥調製設備の導入)(乾燥機(100石×7台)、粗選機、稲摺機(8インチ×1台)、光選別機、計量機)	138,380,000	61,600,000	0	0	76,780,000	令和5年6月7日	米価の上昇により離農する方が減り、規模拡大が計画通りには進んでいないが、数年のうちには達成する見込み。また、高温耐性品種の拡大や直播・密播の拡大について、作付け配置の変更や販売上の理由で一時的に拡大が滞っているが、数年で達成の見込み。	地域における離農予定者からの集積による経営面積の拡大を計画していたが、米価の上昇により離農者が減少し、目標とする面積の集積に至らなかったことから、目標を達成することができなかつた。しかし、少しずつではあるが集積面積は拡大していること、当該経営体は地域の担い手として認識されていることから、今後も農地の集積が見込まれ、目標を達成できると見込まれる。また、高温耐性品種及び直播・密播栽培の拡大については、栽培体系内での対応が可能な範囲でもあるため、継続した目標の達成を促していく。	

都道府県平均達成率	58.2%	総合所見	目標未達成の原因としては、米価の上昇による離農者の減少等により、栽培面積を拡大できなかったことである。このため、農地中間管理機構等を活用しながら農地の集積を進め、高温耐性品種及び直播・密播の面積拡大に努めていく。
-----------	-------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)のIに準じて作成すること。
 2 要綱別記1のIの第2の2の(2)のただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。